

テクトロニクス・イノベーション・カンファレンス2025

テクトロニクス・イノベーション・カンファレンス2025では、厳選した技術セッションに加え、「リアル」ならではの情報収集の場となるよう、実機およびソリューションを一堂に集め、測定事例や最新ユーザ・エクスペリエンスをお気軽に体験いただけます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

開催日時：2025年7月3日(木)
10:00-17:00 開場9:30
展示会場 11:50-17:00

会場：ステーションコンファレンス東京 5F
(サピアタワー) 東京駅 日本橋口 直結
新幹線日本橋口改札徒歩1分、八重洲北口改札徒歩2分
東京メトロ東西線大手町駅B7出口直結

参加費
無料

セッションは事前登録制です。

お席が限られておりますのでお早めにお申込みください。
お申込み後の変更も可能です。

登録はこちら <https://go.eventcloudmix.com/34447>



エキスパートに学ぶ！最新技術動向が分かるセッション

すべてのセッションおよび詳細は裏面をご確認ください。



名古屋大学

山本 真義 様

「サイバートラック（テスラ）に搭載されたパワーエレクトロニクス技術から読み解く次世代計測技術最前線」



大阪大学

兼本 大輔 様

「「電源問題」に挑む次世代センシング技術～圧縮センシングで目指すバッテリーレス動作の実現に向けて～」



高エネルギー加速器研究機構

宮原 正也 様

「高速データ通信を支える超低ジッタ水晶発振器の開発」



AMD Japan AI Innovators Hub

中村 正澄 様

「注目される生成AI市場技術トレンド～知らななきゃ損する、次の注目技術をわかりやすく解説～」



高速シリアル・インタフェース技術コンサルタント

畑山 仁 様

「高速シリアル・インタフェースの進化と基本概念から最新技術まで解説」



長野コンサルティングオフィス

長野 英生 様

「最新規格を徹底解説！高速ディスプレイ・インタフェースの最前線」

実機を見て触って納得！展示コーナー 計測のお悩みもお気軽にご相談ください

最新技術ソリューションや新製品を実機デモでご紹介！

高速通信

Ethernet
USB4/USB3.2/DP
DDR5/LPDDR5メモリ
PCI Expressなど

自動車

車載LAN
カメラインタフェース
MIPIなど

パワーデバイス

ダブル・パルス・テスト
パワー・インテグリティ
など

RF

ミリ波レーダ
圧縮センシング

ノイズ解析

自動計測

AI自動波形判定

など多数

技術パートナー (50音順・敬称略)

Anritsu
Advancing beyond

東芝情報システム株式会社

HOSIDEN

PE SYSTEMS

技術セッション 事前登録制

高速シリアル／パワー／オートモーティブ／研究分野／RFワイヤレス／汎用計測などの分野においてエキスパートの外部ゲストや、お客様の課題を熟知した弊社エンジニアたちによる、最新技術動向や技術課題およびソリューションについてご聴講いただけます。

時間					
10:00		10:00～11:30 HSS-4 「高速シリアル・インタフェースの進化と基本概念から最新技術まで解説」 高速シリアル・インタフェース技術 コンサルタント 畑山 仁 様	10:10～11:10 Power-2 「研究開発から量産試験までカバーするバッテリー・テスト・ソリューション」 テクトロニクス 岡田 信孝	10:00～11:00 Automotive-1 「最新オシロスコープを使用したMIPI D-PHY/C-PHYの評価手法」 テクトロニクス 脇本 雄太	10:00～11:00 Research-1 「注目される生成AI市場技術トレンド～知らなきゃ損する、次の注目技術をわかりやすく解説～」 AMD Japan AI Innovators Hub 中村 正澄 様
	10:20～12:20 HSS-1 「PCI Expressの規格動向とアンリツ&テクトロニクスの最新Tx/Rx計測ソリューション」 アンリツ株式会社 和田 健 様／ テクトロニクス 鈴木 克彦				
11:00			11:20～12:20 Power-3 「パワー・インテグリティの重要性と最新の測定手法」 テクトロニクス 池田 一樹	11:10～12:40 Automotive-2 「車載Ethernetの測定ソリューション」 アンリツ株式会社 瀬川 隆央 様／ テクトロニクス 青山 航大	11:10～12:10 Research-2 「高速データ通信を支える超低ジッタ水晶発振器の開発」 高エネルギー加速器研究機構 宮原 正也 様
12:00		11:40～12:40 HSS-5 「ソルダージン・プロービングの実例紹介～ノウハウを一挙公開～」 テクトロニクス 高橋 誠			
13:00	13:00～15:10 HSS-2 「USB3.2/USB4の規格動向とアンリツ&テクトロニクスの最新Tx/Rx計測ソリューション」 アンリツ株式会社 多田 哲也 様／ テクトロニクス 鈴木 克彦、 脇本 雄太		13:20～14:50 Power-4 「サイバートラック(テスラ)に搭載されたパワーエレクトロニクス技術から読み解く次世代計測技術最前線」 名古屋大学 山本 真義 様		13:20～14:50 Research-3 「「電源問題」に挑む次世代センシング技術～圧縮センシングで目指すバッテリーレス動作の実現に向けて～」 大阪大学 兼本 大輔 様
14:00					
		14:30～15:30 Power-1 「kWクラスからMWまでスケラブルに構築可能な双方向電源」 テクトロニクス 岡田 信孝		14:30～15:30 調整中	
15:00					
	15:30～17:00 HSS-3 「最新規格を徹底解説！高速ディスプレイ・インターフェースの最前線」 長野コンサルティングオフィス 長野 英生 様		15:40～17:00 Power-5 「ダブル・パルス・テストにおける次世代パワーデバイス評価ソリューション」 PE Systems Tristan Evans 様／ テクトロニクス 池田 一樹		
16:00		16:00～17:00 Memory-1 「LPDDRメモリの最新規格を徹底解説！規格・測定・判定を完全把握」 テクトロニクス 高橋 誠			16:00～17:00 RF-1 「EMC/ノイズ・トラブル・シューティングの最新手法～エミッションからイミュニティまで～」 テクトロニクス 鹿取 俊介

■ プログラムは変更となる可能性がありますのでご了承下さい。 ■ 同業他社のお申込みはご参加をお断りさせていただく場合がございます。 ■ セッション資料はPDFデータのダウンロードURLをご案内予定です。印刷物の配布予定はございません。 ■ ご提供いただいたお客様の個人情報は、弊社(テクトロニクス)個人情報保護方針と法令を遵守して弊社と協賛会社とで適切にお取り扱いさせていただきます。

テクトロニクス・イノベーション・カンファレンス事務局

E-mail : seminar.jp@tektronix.com

セッション概要

セッション・タイトル	講師名(敬称略)	セッション概要
HSS-1 PCI Expressの規格動向と アンリツ & テクトロニクスの 最新Tx/Rx計測ソリューション	アンリツ株式会社 和田 健 様 通信計測カンパニー サービスインフラストラクチャー ソリューション事業部 ソリューションマーケティング部 テクトロニクス 鈴木 克彦	AI、HPCやデータセンタなどの分野に展開されたPCI Expressは、自動車や光の領域にまで拡大を続け、更にメモリなどコンピュータ・デバイス間の新規規格CXLやチップレット規格のUCleなど様々な規格の物理層にも採用されています。PCIe規格団体ではPAM4 64GB/dのRev7.0の標準化が進められ、Rev6.0のコンプライアンス・テストの準備も進行中です。テクトロニクスはPCIe計測ソリューションでアンリツ社と協業して、Tx/Rxのトータル・ソリューションを提供しています。このセミナーではテクトロニクスとアンリツ社から、それぞれ最新のTxとRxの計測ソリューションについてご紹介します。
HSS-2 USB3.2/USB4の規格動向と アンリツ & テクトロニクスの 最新Tx/Rx計測ソリューション	アンリツ株式会社 多田 哲也 様 通信計測カンパニー グローバルセールスセンター 通信計測営業本部 第1営業推進部 テクトロニクス 鈴木 克彦 テクトロニクス 脇本 雄太	USBはType-C、Thunderbolt、DisplayPortなどの規格と関連し、最新のUSB4 Version2.0の規格では、PAM3の信号伝送で40Gbps/レーンの高速インタフェースを実現しています。テクトロニクスではアンリツ社と協業して最新の規格に対応した計測ソリューションを提供します。このセミナーではテクトロニクスとアンリツ社から、それぞれ最新のTxとRxの計測ソリューションについてご紹介します。特に、USB4V2のTxテストには時間を要する測定が多いため、ディスプレイアグリゲート・アーキテクチャによる測定時間の大幅な短縮を実現した、新しいClarius Txテスト・ソフトウェアについて説明します。
HSS-3 最新規格を徹底解説！ 高速ディスプレイ・インターフェースの最前線	長野コンサルティングオフィス 長野 英生 様 代表	HDMI、DisplayPortに代表される外部ディスプレイ・インターフェースや、PC等機器内の内部ディスプレイ・インタフェースが広く使われています。本講演では、当該ディスプレイ・インタフェースの最新の市場動向、規格動向、設計のポイントを徹底解説します。
HSS-4 高速シリアル・インタフェースの進化と 基本概念から最新技術まで解説	高速シリアル・インタフェース技術 コンサルタント 畑山 仁 様 アリオン株式会社 技術／営業スーパーバイザー 元テクトロニクス社 シニア・テクニカル・エクスパー	PCI Express、USB 3.2、HDMIなどの高速シリアル・インタフェースは、あらゆる分野の電子機器を支える重要な技術です。高速化に伴い複雑化も増し、その変化へのキャッチアップが困難になっています。そこで本セッションでは、高速シリアル・インタフェースの技術傾向を包括的に捉え、基本的な概念から最新技術までのキー・ポイントを解説します。ぜひその進化の舞台裏を垣間見てください。
HSS-5 ソルダーイン・ブローピングの実例紹介 ～ノウハウを一挙公開～	テクトロニクス 高橋 誠	高速信号のブローピングは半田付け用アクセサリを活用する手法が主流です。また、高感度の電源観測も半田付け用アクセサリは効果的です。さて、そのアクセサリの半田付け作業、怒りと不安の世界に放り込まれることになります。消耗品と言ってもとても高価なアクセサリ、しかも破損しやすい。いったいどう扱えばいいのか?でももう大丈夫!本セミナーでは自信を持ってできるきっかけになればという想いで実例を交えてノウハウを紹介します。
Memory-1 LPDDRメモリの最新規格を徹底解説！ 規格・測定・判定を完全把握	テクトロニクス 高橋 誠	DDRメモリはLPDDR5メモリとDDR5メモリが主流となり、多くの製品に採用されています。更に、次世代のLPDDR6の規格の公開も間近に控えています。新規に高性能で省エネを意識したモノづくりにLPDDR5を採用するケースは多いかと感じます。エンジニアが不足する中、規格を理解し、測定し、良し悪しを判断する工数は問題です。更に、デバッグとなると働き方改革どころでない事態になることでしょう。そして新しい測定機器やツールをどう使いこなすかも課題です。本セミナーではLPDDR4/LPDDR5の規格の説明、測定方法、判定方法を具体的にご紹介します。
Power-1 kWクラスからMWまでスケラブルに 構築可能な双方向電源	テクトロニクス 岡田 信孝	あらゆる産業の電動化の実現のためには、大電力のDC/DCコンバータやバッテリー、BMS等を実際に使う電力で評価する必要があります。大電力の評価では設置スペースや発熱量などが問題となっていました。本セッションでは、従来機種と比較して大幅な省スペース化と高効率化を実現した双方向DC電源をご紹介します。今後必要となる高電圧、大電流、大電力に対応可能なソリューションとなっています。
Power-2 研究開発から量産試験までカバーする バッテリー・テスト・ソリューション	テクトロニクス 岡田 信孝	次世代バッテリーの評価においてはバッテリー・セル、バッテリー・モジュール、バッテリー・パックといった形状の違いと、研究開発から設計、特性評価、生産試験、信頼性評価といったステージの違いという2つの側面があり、それぞれのエリアによって必要とされる評価項目及び測定機器は異なります。このセッションでは、それぞれのエリアに向けて用意された評価ソリューション群をご紹介します。
Power-3 パワー・インテグリティの重要性和 最新の測定手法	テクトロニクス 池田 一樹	パワー・インテグリティ (PI) は、シグナル・インテグリティ (SI) やEMCと深く関係しており、安定した電子回路動作に欠かせない要素です。近年では、基板実装の小型化によるオンボード電源の低電圧・大電流・高速化が進み、設計が困難になりつつあります。わずかなリップル・ノイズが回路動作に影響を与え、電源インピーダンスの影響はノイズ増加や誤動作の原因となります。本セッションでは、実際の測定例を交えながら、従来の電源測定に対して最新の測定ソリューションを紹介します。
Power-4 サイバートラック (テスラ) に搭載された パワーエレクトロニクス技術から読み解く 次世代計測技術最前線	名古屋大学 山本 真義 様 未来材料・システム研究所 附属未来エレクトロニクス集積研究 センター システム応用部	テスラ社から2023年に販売開始されたサイバートラックには様々な先進的なパワーエレクトロニクス技術が導入されており、それら開発評価に係る計測技術も飛躍的に高い精度と対環境性能を求められることになる。本講演では、モーター駆動用インバータだけではなくバッテリー充電器やDC-DCコンバータにおいてもSiCパワー半導体化が進む中で、次のGaNパワー半導体導入時における計測技術とその精度の重要性を実証評価結果から示唆する。
Power-5 ダブル・パルス・テストにおける 次世代パワーデバイス評価ソリューション	PE Systems Tristan Evans 様 テクトロニクス 池田 一樹	近年、次世代パワーデバイスは高性能および省エネルギーの観点から注目を集めており、関連市場は急速に進化しています。よって、パワーデバイスの評価はとても重要です。ダブル・パルス・テストはパワーデバイスにおけるスイッチング・パラメータを測定・評価する手法です。しかし、そのスイッチング特性を正確に評価するには、従来の方法では課題があります。本セッションでは、これらに関して最新の測定ソリューションを紹介します。さらに、テクトロニクス×PE Systems社のダブルパルステストシステムをご紹介します。

セッション概要

セッション・タイトル	講師名（敬称略）	セッション概要
Automotive-1 最新オシロスコープを使用した MIPI D-PHY/C-PHYの評価手法	テクトロニクス 脇本 雄太	MIPI D-PHY/C-PHYはカメラやディスプレイの映像データを低消費電力で伝送する物理層規格であり最近ではモバイル機器のみならず自動車等で使用されるセンサの出力にも使用されている規格です。本セッションでは最新測定器を使用してMIPI D-PHY/C-PHYの信号評価を簡単に行うことができる方法についてご紹介します。
Automotive-2 車載Ethernetの測定ソリューション	アンリツ株式会社 瀬川 隆央 様 通信計測営業本部 第1営業推進部 テクトロニクス 青山 航大	このセッションでは、現在Open Allianceによってテスト手法の検討が進み、注目を集めている車載イーサネットに焦点を当てます。車載Ethernetには10Mbpsから10Gbps以上の伝送レートに応じた様々な規格があり、各規格の厳しい基準値を満たすかどうかの判断のため、最適な測定器・測定手法が重要です。また、ジッタやアイバターンを用いて信号品質を評価し、製品開発を加速させます。本セミナーでは、各規格におけるテクトロニクスとアンリツ製品のソリューションをご紹介します。
RF-1 EMC/ノイズ・トラブル・シューティングの 最新手法 ～エミッションからイミュニティまで～	テクトロニクス 鹿取 俊介	高速シリアル・インタフェース、パワー・エレクトロニクス、無線通信、どの電気電子技術においても、EMC/ノイズの課題は切り離すことができません。信号の高速化、パワー半導体動作の高周波数化により放出されるノイズは広帯域化する一方、低電力化、伝送方式の複雑化により、ノイズの影響はさらに重要な課題となります。エミッション/イミュニティ試験対策から更なる製品品質の向上まで、最新の技術を活用した多角的なEMCトラブル・シューティング手法をご紹介します。
Research-1 注目される生成AI市場技術トレンド ～知らなきゃ損する、次の注目技術を わかりやすく解説～	AMD Japan AI Innovators Hub 中村 正澄 様 テクニカル・ディレクター	生成AI市場に要求される技術トレンドを半導体メーカ目線から解説します。チップレットや3Dパッケージ、AIに必要な半導体技術とは？注目されがちなAI学習向けのGPUだけでなく、ネットワーク、ストレージといったAIデーターセンタに必要な技術動向をわかりやすく解説します。CPU、GPU、NPU、FPGA、DPUといった主要技術を理解することができます。また、AI DCの今後の課題も明らかにします。
Research-2 高速データ通信を支える 超低ジッタ水晶発振器の開発	高エネルギー加速器研究機構 宮原 正也 様 素粒子原子核研究所 准教授	近年、5G（第5世代移動通信システム）の導入により通信容量が増大し、データセンター機器は、伝送速度400/800Gbit/sから1.6Tbit/sへの移行が進められています。高速データ通信において高品質な通信品質を実現するための基準クロック源として、高発振周波数かつ低ジッタ水晶発振器の強いニーズがあります。本講演では差動型コンプリメンタリー・コルピッツ発振回路とフォトリソ水晶振動子により156MHz発振回路として世界最小レベルの16.6fsの低ジッタを達成した技術を中心に議論します。
Research-3 「電源問題」に挑む次世代センシング技術 ～圧縮センシングで目指す バッテリーレス動作の実現に向けて～	大阪大学 兼本 大輔 様 大学院工学研究科 電気電子情報通信工学専攻准教授	DXを推進するうえで、充電不要なウェアラブル生体信号モニタリングやバッテリーフリーのインフラ故障検知、自立分散型センサネットワークなどの応用が注目されている。こうした応用を実現するには、省電力ワイヤレスセンシング技術が不可欠である。本講演では、ランダムアンダーサンプリングと信号類似性を活用した圧縮センシング手法を紹介し、具体例として省電力・バッテリーレスの脳波無線伝送実験の動画を提示する。さらに、会場では実機による省電力センシングのデモを行う予定である。